

私たちの活動を紹介します

江府町

こだいち踊り保存会

<会長> 見山 収みやま おさむさん

<連絡先> TEL 0859-75-6007

(こだいち踊り保存会事務局)

<設立年> 平成 28 年

<会員数> 30 名 (令和 3 年 7 月時点)

昭和 49 年 10 月 県指定無形民俗文化財指定



メンバーは元役場職員、地元の踊り愛好家等さまざま

500 年の伝統を受け継ぎ今に

戦国時代、江美城は蜂塚氏はちつか一門の居城でした。盆の 17 日の夜には城門を開放し、町民や農民たちに自由に入出りを許して供養と豊作を祈る踊りと力くらの「力角すもろ」で夜を明かすことを常としていました。

やがて毛利氏に攻められ落城してしまいます。その後も城下の人々は昔を偲び、毎年盆の 17 日の夜には供養として踊り明かしました。このことが「江尾こだいち踊り」として今に伝わっています。

現在は、江尾を中心に各集落で踊られており、特に盆の 17 日は「江尾十七夜」として、岡山、島根までその名を広めて一大行事となり、踊りを中心としたイベントも催され、賑わいをみせています。

次世代へつなげる活動

昭和 40 年頃有志会を発足後、昭和 49 年には県指定無形民俗文化財に指定されました。その後、同好会が発足し保存会へと形を変え、活動を続けてきました。活動内容としては、毎年夏に練習会を開いたり、子どもたちへの指導、後継者の育成に力を入れています。また県内外の芸能イベントに出演し PR もしています。

課題として、会員の高齢化に直面しています。若い世代の会員を増やし、踊りの磨き上げや見せ方も工夫して、より洗練された演舞ができるよう精進したいと思います。



江尾十七夜は
こだいち踊りで
最高潮を迎える!



令和 2 年・3 年度はコロナ禍で江尾十七夜は中止になりましたが、こだいち踊りだけは踊ることができました。500 年の伝統を絶やさぬよう、先人の思いを大切に、その時代に合ったやり方で無理なく活動を継続していこうと思います。

どんな状況下でも、つないでいける伝統があるというのは町の誇りです。

今年は 8 月 17 日の江尾十七夜で、お客様と一緒に踊れるよう願っています。